

本とわたし

横浜国立大学

台風科学技術研究センター長

筆保弘徳さん 46

幼い頃から台風に興味があり、約20年間研究を続けています。気象学を教えていた横浜国立大（横浜市保土ヶ谷区）に先月設置された、「台風科学技術研究センター」のセンター長に就任しました。全国から気象や工学の研究者、経済学者や法学者など様々な分野の精鋭が集まり、台風被害をなくす方法を研究していくます。

台風被害ない未来を目指して



「東京大洪水」

高嶋哲夫著

りました。昨年、震が関で台風の研究について説明した際に、台風への危機感を持つある国會議員からこの本を紹介されました。議員たちは19号が上陸した時、地下鉄の冠水などの本に書

建物も大きな被害は避けられません。台風のシミュレーションや自治体の対応、住民の避難が遅れてしまう描寫もリアルだなと思いまして。実は、著者と直接話しました。見の明を持つていると思うのですが、生きたことがあります。

かれた内容が、実際に起
るのではないかと焦りを感
じたそうです。
もし荒川が決壊すれば都
心の地下鉄は水没します

市部を直撃するようになります。今後も温暖化が續けば台風の被害はさらに拡大になります。街の景観を諦めて自然を破壊し、防波堤の壁で川を囲めばリスクは下がらないでしょう。

ンでわかつています。今
技術ではまだ現実的ではな
いかもしませんが、不可
能ではないと思つていま
す。

	4日(単位円)
・芝浦】(骨付き、 ^生)	高値 安値 平均
頭上	572 540 548
上	648 475 525
中	648 421 494
並	554 335 452
等外	504 108 375
等級	(2) (3) (4)

かながわ
教育

優秀賞・佳作の作品
（敬称略、カッコ内は指導教諭）
■優秀賞
△「小学校低学年の部」
△「『なみだ』って何だろう。」
小田原市立芦子小3年 草薙美
緒（奥津康之）
△「ぼくの恐竜大ぼうけん」
茅ヶ崎市立緑が浜小3年 山口
楓太（山田奈央）

△「ケーンと空高く鳴け」綾瀬市立早園小6年 大友詩織

△「佐藤悠」函嶺白百合学園小6年 福岡葉子（武岡文子）

△「字」鎌倉女学院中2年 三村優実（高橋かれん）

△「Reader」横浜国立大付属鎌倉中3年 今田美宙

■佳作

△「小学校低学年の部」

「わたしの大好きな妹」 開成
(村山喜)
町立開成南小2年 岩永彩葉
(熱海愛美) △「がんばったぼく」 川崎市立稻田小3年 山県
拓生(岩田智子) △「わたしの大せつな友だち」 川崎市立稻田
小2年 大島風香(田中玉奈)
△「ハヤトくん」 川崎市立木月
と と 開成

川崎市立
子) ▽
小1年

後藤万里子（加藤智恵
オリンピックを見る）
田島小2年 荻巣心美
理子）▽「たのしかつ
ね」横浜市立小田小2
佑（中村なお子）▽「犬
」「横浜市立平沼小2年
華（磯野哲英）

原明曰美（鈴木麻友）▽「私は外國語を勉強する理由」カリカラ
ス小5年 秦望結（深沢理恵）▽「私の想像アドベンチャー」
▽「私の想像アドベンチャー」
相模原市立大野小6年 奈良玲（新関昌也）▽「10年（今から）
かり（そで）あること」茅ヶ崎立東海岸小6年 横井彩結（橋本信介）▽「海の生き物」
▽「海の生き物」
プラスチック（函嶺白百合学園）小5年 古宇田千歳（尾沢涼子）

△「自機に向かって」秦野市立南小5年 藤野穰生(長町彬子)
△「ありがとうございます。みんな 横浜市立永谷小6年 内田陽菜(小野塚葵)
△「中学校の部」
「『鎌倉うすまき案内所』を読んで」鎌倉女学院中2年 田智(高橋かれん)△「『言葉』との出会い」川崎市立はるひ野中2年 松久莉世(岩上英樹)

が以前よりも強い勢力で都　ることがシミュレーー
2010年に集英社から刊行。二つの大型台風が合体
した未曾有の巨大台風が首都圏を直撃する様子を描く。
暴風雨で荒川が氾濫して高層マンションや地下鉄など都
心のインフラを襲い、人々は不安と恐怖の渦に巻き込まれる。著者はこの本以外にも、地震や噴火などの災害を題材にした小説を複数執筆している。

ています。人工制御を実現し、まずは人的被害をなくす。そして究極は経済的損失もゼロにして、本に書かれた内容が起きることのない未来を目指します。

学生時代から台風の被害地調査を行ってきました。被害に遭い、途方に暮れた住民の姿を見る度に、自分たちの研究がまだ社会や世の中につながっていない悔しさを感じてきました。

センターには台風をとことん研究し、成果を社会に実装するまでの本別が詰つ

湘南ケーブル
002ch 0463-22-1213

枝肉
【東京】
豚

